

## 規 格 概 要 書

品 名		高塩基度ポリ塩化アルミニウム	
規 格	水道施設の技術的基準を定める省令（平成12年2月23日厚生省令第15号）第1条第 1 項第16号別表第1を満たすこと。 納入する水道用ポリ塩化アルミニウムは、” JWWA K 154:” の認証品であり、以下の規格であること。		
	外 観	—	無色～黄味がかった薄い褐色の透明な液体
	比重(20℃)	—	1.19 ～ 1.21
	酸化アルミニウム	%	10.0 ～ 11.0
	硫酸イオン	%	3.5以下
	塩基度	%	67 ～ 75
	p H	—	3.5 ～ 5.0
	カドミウム	mg/L	0.0003以下
	水銀	mg/L	0.00005以下
	セレン	mg/L	0.001以下
	鉛	mg/L	0.001以下
	ヒ素	mg/L	0.001以下
	六価クロム	mg/L	0.005以下
	鉄	mg/L	0.03以下
	マンガン	mg/L	0.005以下
	ニッケル	mg/L	0.002以下
	アンチモン	mg/L	0.002以下
最大注入率	200mg/ℓ		
年間予定使用量 ※1	239,000 kg		
納 入 期 間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
納 入 場 所	作名浄水場（館山市作名570番地の1）	貯留槽有効容量 10m³	
	増間浄水場（南房総市増間523番地）	貯留槽有効容量 6m³×2基	
納 入 方 法	タンクローリー車で納入のこと。		
※1 予定使用量は目安であり、この使用量を保証するものではない。 ・ 最低注文量は、8,000kg／回を予定している。 ・ 上記納入場所複数へ搬入を依頼する場合がある。			

## 規 格 概 要 書

品名	次亜塩素酸ナトリウム(有効塩素12%)		
規格	水道施設の技術的基準を定める省令（平成12年2月23日厚生省令第15号）第1条第1項第16号別表第1を満たすこと。 JWWA-K-120：2008-2認証品であり、以下の規格であること(※1)。		
	外 観	—	淡黄色透明
	比重(20℃)	—	1.16以下
	有効塩素	%	12以上 ～ 14以下
	遊離アルカリ	%	2以下
	塩化ナトリウム(NaCl)	%	2以下
	塩素酸	mg/kg	2,000以下
	臭素酸	mg/kg	10以下
	カドミウム	mg/L	0.0003以下
	水銀	mg/L	0.00005以下
	セレン	mg/L	0.001以下
	鉛	mg/L	0.001以下
	ヒ素	mg/L	0.001以下
	六価クロム	mg/L	0.005以下
最大注入率	100mg/ℓ		
年間予定使用量 ※2	88,000 kg		
納入期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
納入場所	作名浄水場（館山市作名570番地の1）	貯留槽有効容量	3.5m <sup>3</sup> ×2基
	出野尾配水場(館山市出野尾561-1番地)	貯留槽有効容量	3m <sup>3</sup> ×2基
	増間配水場(南房総市増間523番地)	貯留槽有効容量	4m <sup>3</sup> ×1基
	宮本配水場(南房総市富浦町宮本432番地)	貯留槽有効容量	2m <sup>3</sup> ×2基
	山本浄水場（館山市山本540番地）※3	貯留槽有効容量	3m <sup>3</sup> ×2基
納入方法	タンクローリー車で納入のこと。		
※1 特級次亜とする。			
※2 予定使用量は目安であり、この使用量を保証するものではない。			
※3 上記納入場所の内、山本浄水場については、塩素酸生成抑制のため夏季(5～10月頃)納入について、別紙3の規格のものとする。ただし、気象状況により当該期間の延長、短縮若しくは臨時の納入を依頼することがある。			
・ 最低注文量は、1,000kg/回を予定している。			
・ 上記納入場所複数へ搬入を依頼する場合がある。			

## 規 格 概 要 書

品名	次亜塩素酸ナトリウム(有効塩素6%)		
規格	水道施設の技術的基準を定める省令（平成12年2月23日厚生省令第15号）第1条第1項第16号別表第1を満たすこと。 JWWA-K-120：2008-2認証品であり、以下の規格であること。※1		
	外観	—	黄緑色透明
	比重(20℃)	—	1.08以下
	有効塩素	%	6以上 ～ 7以下
	遊離アルカリ	%	1以下
	塩化ナトリウム(NaCl)	%	1以下（低食塩次亜）
	塩素酸	mg/kg	1,000以下
	臭素酸	mg/kg	5以下
	カドミウム	mg/L	0.0003以下
	水銀	mg/L	0.00005以下
	セレン	mg/L	0.001以下
	鉛	mg/L	0.001以下
	ヒ素	mg/L	0.001以下
	六価クロム	mg/L	0.005以下
	最大注入率	100mg/ℓ	
年間予定使用量 ※2	20,000 kg		
納入期間（注2）	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
納入場所	山本浄水場（館山市山本540番地）※3	貯留槽有効容量	3m³×2基
納入方法	タンクローリー車で納入のこと。		
※1 特級次亜とする。			
※2 予定使用量は目安であり、この使用量を保証するものではない。			
※3 塩素酸生成抑制のため夏季(5～10月頃)納入の予定であるが、気象状況により当該期間の延長、短縮若しくは臨時の納入の依頼をすることがある。			
・ 最低注文量は、1,000kg/回を予定している。			

## 規 格 概 要 書

品 名	水酸化ナトリウム（液体苛性ソーダ）		
規 格	水道施設の技術的基準を定める省令（平成12年2月23日厚生省令第15号）第1条第1項第16号別表第1を満たすこと。 JWWA-K-122:2005の品質に準じ以下の規格に適合する25%濃度溶液		
	外観	—	無色又はわずかに着色した透明な液体
	水酸化ナトリウム	%	25以上 ～ 26以下
	塩化ナトリウム	%	1.5以下
	カドミウム	mg/L	0.0003以下
	水銀	mg/L	0.00005以下
	セレン	mg/L	0.001以下
	鉛	mg/L	0.001以下
	ヒ素	mg/L	0.001以下
	六価クロム	mg/L	0.005以下
	ニッケル	mg/L	0.002以下
	アンチモン	mg/L	0.002以下
最大注入率	100mg/ℓ（45%溶液換算）		
納入方法	ローリー車で納入 ※納入時の濃度は25%とすること。		
年間予定使用量 ※ 1	213,000 kg		
納入期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
納入場所	増間浄水場	（南房総市増間523番地）	貯留槽5m <sup>3</sup> ×1槽
	山本浄水場	（館山市山本540番地）	貯留槽5m <sup>3</sup> ×2槽
※1 予定使用量は目安であり、この使用量を保証するものではない。 ・ 最低注文量は、5,000kg／回を予定している。 ・ 上記納入場所複数へ搬入を依頼する場合がある。			

## 規 格 概 要 書

品名	硫酸		
規格	硫酸協会規格75%		
	水道施設の技術的基準を定める省令（平成12年2月23日厚生省令第15号）第1条第1項第16号別表第1を満たすこと。		
	硫酸分	%	75以上
	カドミウム	mg/L	0.0003以下
	水銀	mg/L	0.00005以下
	セレン	mg/L	0.001以下
	鉛	mg/L	0.001以下
	ヒ素	mg/L	0.001以下
	六価クロム	mg/L	0.005以下
鉄	mg/L	0.03以下	
最大注入率	50mg/L		
納入方法	ローリー車で納入		
年間予定使用量※1	60,000 kg		
納入期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
納入場所	山本浄水場（館山市山本540番地） 貯留槽0.75m <sup>3</sup> ×2槽		
※1 予定使用量は目安であり、この使用量を保証するものではない。 ・ 最低注文量は、1,000kg／回を予定している。 ・ 上記納入場所複数へ搬入を依頼する場合がある。			

## 規 格 概 要 書

薬品名	粉末活性炭(ウェット)		
規格	ウェットタイプ（含水率50%程度）		
	水道施設の技術的基準を定める省令（平成12年2月23日厚生省令第15号）第1条第1項第16号別表第1を満たすこと。 JWWA-K-113認証品であり、以下の規格であること。		
	2-MIB価 ※1		6以下
	カドミウム	mg/L	0.0003以下
	水銀	mg/L	0.00005以下
	セレン	mg/L	0.001以下
	鉛	mg/L	0.001以下
	ヒ素	mg/L	0.001以下
	六価クロム	mg/L	0.005以下
	亜鉛	mg/L	0.1以下
	銅	mg/L	0.1以下
	マンガン	mg/L	0.005以下
	アンチモン	mg/L	0.002以下
	ニッケル	mg/L	0.002以下
納入方法	10kg袋入り		
年間予定使用量 ※2	20,000 kg		
納入期間 ※3	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
納入場所	増間浄水場（南房総市増間523番地）		

※1 活性炭の2-MIB価とは、200ng/lの2-MIB溶液から2-MIBを吸着して、20ng/lとするために必要な活性炭量である。

※2 予定使用量は目安であり、この使用量を保証するものではない。

※3 納入期間は配水管内の温度が上昇する5～11月前後が主な期間であるが、それ以外の期間は原水等に臭いが発生したときに随時納入するものとする。

- ・ 1回当たりの注文量は、2,000kg／回を予定している。
- ・ 上記納入場所複数へ搬入を依頼する場合がある。

納入方法

（1）荷降ろし（含む）

- ・ 企業団に指定された場所に、活性炭を降ろす。
- ・ 荷下ろしは手降ろしのみとする。

## 規 格 概 要 書

薬品名	粉末活性炭(ドライ)		
規格	ドライタイプ		
	水道施設の技術的基準を定める省令（平成12年2月23日厚生省令第15号）第1条第1項第16号別表第1を満たすこと。 JWWA-K-113認証品であり、以下の規格であること。		
	2-MIB価 ※1		6以下
	カドミウム	mg/L	0.0003以下
	水銀	mg/L	0.00005以下
	セレン	mg/L	0.001以下
	鉛	mg/L	0.001以下
	ヒ素	mg/L	0.001以下
	六価クロム	mg/L	0.005以下
	亜鉛	mg/L	0.1以下
	銅	mg/L	0.1以下
	マンガン	mg/L	0.005以下
	アンチモン	mg/L	0.002以下
	ニッケル	mg/L	0.002以下
納入方法	ローリー車で納入		
年間予定使用量 ※2	3,000 kg		
納入期間 ※3	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
納入場所	作名浄水場（館山市作名570番地の1）		
※1 活性炭の2-MIB価とは、200ng/lの2-MIB溶液から2-MIBを吸着して、20ng/lとするために必要な活性炭量である。			
※2 予定使用量は目安であり、この使用量を保証するものではない。			
※3 納入期間は配水管内の温度が上昇する5～11月前後が主な期間であるが、それ以外の期間は原水等に臭いが発生したときに随時納入するものとする。			
・ 1回当たりの注文量は、500kg／回を予定している。			

## 仕 様 書

薬 品 名	硫酸銅
規 格	JIS規格品
納 入 方 法	20kg袋入り
年間予定使用量 ※ 1	900 kg
納 入 期 間	令和3年4月1日～令和4年3月31日
納 入 場 所	増間浄水場 (南房総市増間523番地) 作名浄水場 (館山市作名570番地の1)
特記：硫酸銅の使用目的は、ダム原水における生物等の繁殖を抑制するため、ダム内に適量散布ために使用。	
※1 予定使用量は目安であり、この使用量を保証するものではない。 ・ 注文量は、200kg／回を予定している。	



## ・各施設地図



		PAC	次亜	NaOH25%	硫酸75%	粉末活性炭(ウェット)	粉末活性炭(ドライ)	硫酸銅
①	増間浄水場	○	○	○		○		○
②	宮本配水場		○					
③	山本浄水場		○※1	○	○			
④	作名浄水場	○	○				○	○
⑤	出野尾配水場		○					

参考1

水道施設の技術的基準を定める省令(平成12年2月23日厚生省令第15号)別表第1

評価項目	評価基準値（下記の数値以下であること）
カドミウム及びその化合物	カドミウムの量に関して、 $0.0003\text{mg/l}$ 以下であること。
水銀及びその化合物	水銀の量に関して、 $0.0005\text{mg/l}$ 以下であること。
セレン及びその化合物	セレンの量に関して、 $0.001\text{mg/l}$ 以下であること。
鉛及びその化合物	鉛の量に関して、 $0.001\text{mg/l}$ 以下であること。
ヒ素	ヒ素の量に関して、 $0.001\text{mg/l}$ 以下であること。
六価クロム化合物	六価クロムの量に関して、 $0.005\text{mg/l}$ 以下であること。
亜硝酸態窒素	$0.004\text{mg/l}$ 以下であること。
シアン化物イオン及び塩化シアン	シアンの量に関して、 $0.001\text{mg/l}$ 以下であること。
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	$1.0\text{mg/l}$ 以下であること。
ホウ素及びその化合物	ホウ素の量に関して、 $0.1\text{mg/l}$ 以下であること。
四塩化炭素	$0.0002\text{mg/l}$ 以下であること。
一・四―ジオキサン	$0.005\text{mg/l}$ 以下であること。
シス―一・二―ジクロロエチレン及び トランス―一・二―ジクロロエチレン	$0.004\text{mg/l}$ 以下であること。
ジクロロメタン	$0.002\text{mg/l}$ 以下であること。
テトラクロロエチレン	$0.001\text{mg/l}$ 以下であること。
トリクロロエチレン	$0.001\text{mg/l}$ 以下であること。
ベンゼン	$0.001\text{mg/l}$ 以下であること。
塩素酸	$0.4\text{mg/l}$ 以下であること。
臭素酸	$0.005\text{mg/l}$ 以下であること。
亜鉛及びその化合物	亜鉛の量に関して、 $0.1\text{mg/l}$ 以下であること。
鉄及びその化合物	鉄の量に関して、 $0.03\text{mg/l}$ 以下であること。
銅及びその化合物	銅の量に関して、 $0.1\text{mg/l}$ 以下であること。
マンガン及びその化合物	マンガンの量に関して、 $0.005\text{mg/l}$ 以下であること。
陰イオン界面活性剤	$0.02\text{mg/l}$ 以下であること。
非イオン界面活性剤	$0.005\text{mg/l}$ 以下であること。
フェノール類	フェノールの量に換算して $0.0005\text{mg/l}$ 以下であること。
有機物（全有機炭素（TOC）の量）	$0.3\text{mg/l}$ 以下であること。
味	異常でないこと。
臭気	異常でないこと。
色度	$0.5$ 度以下であること。
アンチモン及びその化合物	$0.002\text{mg/l}$ 以下であること。
ウラン及びその化合物	$0.0002\text{mg/l}$ 以下であること。
ニッケル及びその化合物	$0.002\text{mg/l}$ 以下であること。
一・二―ジクロロエタン	$0.0004\text{mg/l}$ 以下であること。
亜塩素酸	$0.6\text{mg/l}$ 以下であること。
二酸化塩素	$0.6\text{mg/l}$ 以下であること。
銀及びその化合物	$0.01\text{mg/l}$ 以下であること。
バリウム及びその化合物	$0.07\text{mg/l}$ 以下であること。
モリブデン及びその化合物	$0.007\text{mg/l}$ 以下であること。
アクリルアミド	$0.0005\text{mg/l}$ 以下であること。